



学生の目線で巡る 甲南大学

甲南大学の特色のひとつが、きめ細やかな指導を実践する少人数教育。それぞれに個性的なゼミや研究室では、学生と教員が風通しの良い雰囲気なのか、活発に研究を行っています。そんなゼミや研究室の実際をご紹介します。

Seminar



経営学部経営学科
西村 順二教授

『西村ゼミ』



テーマを共有しながら、先生と近い距離で学べるのが魅力です

西村ゼミでは、去年の6月から今年2月までの期間、甲南大学の近隣に立地する岡本商店街のマーケティング調査を神戸市と共同で実施。今まで通学路としてしか見られていなかった街が、ゼミでの研究を通して、新たな商店街像として浮かび上がって

た。大教室での講義では先生と個人的に話しをする機会が、それほど多くはありません。ゼミだと、テーマを共有しながら先生と近い距離で学べるので、そこ

Laboratory



文学部人間科学科
谷口 文章教授

『谷口研究室』

自然・社会・心の環境に
バランスのとれた、
健全な社会を目指して

哲学・環境学・心理学の3つを柱に、それぞれの環境と命について研究を続ける谷口文章教授。自然環境・社会環境の破壊

は、心の環境汚染が原因“という見地から、人間も含めたあらゆる命と環境問題についての研究を行っています。研究室では、自分だからだを動かし、行動することをベースにさまざまなフィールドワークを展開。その代表例である「ピオトープ（身近な環境創造のための”動植物の生息空間”）は、池を作り、実際にその池から自然環境が復元していく様子を体感して、自然生態系のしくみを学びます。そうした研究を通して高い環境意識を持ち、それが行動へとつながる人の育成を目指しているのです。

また、教授は地球的規模の交流による環境教育を推し進めています。タイ、中国、カナダと常にコンタクトを取りあい、お

きました。岡本商店街は、“学生が多い若者の街”、また、“よそゆきの街”だと思われていましたが、アンケート調査や通行量調査をはじめ、各種の実態調査を行った結果、実際は“普段着の街”であり、また、各世代にも受け入れられている街“だということが明らかになったのです。産官学の協同調査を通して、ゼミ生たちは自分自身の手でマーケティングの大切さを学びまし

が大きく違います。それに、先生のオープンでフレンドリーな性格もあって、西村ゼミはいつも和気あいあいとした雰囲気。パラエティに富んだ学生が集まるのも特長のひとつです。



互いの国が抱える問題に対して相互理解を深め、現代社会の自然・社会・心の環境がバランスよく健全に飛躍するよう、活動が続いています。